

登下校は安全に、速やかに

登下校は家庭で作成した家庭連絡票の地図に書かれた経路を「通学路」とし、事故などの場合は、通常の通学路を通して下校していたかが問われます。連絡がなく朝登校していなかったら、何か事故があったかもしれないと思い、対応します。下校で校門を出たのに、申告があった通常の通学時間を過ぎても家に着いていない場合も、事故や事件に巻き込まれたかもしれないと思い対応します。安全に、速やかに寄り道をしないで下校することを約束にしているのはそのためです。友達と待ち合わせたり、一緒に帰ることもありますが、経路や時間が毎日変わると事故に遭う可能性が高くなるので、通常の経路を利用しましょう。途中、立ち話や座り込んで話す姿を見かけることがあります。手短かにして、一度家に帰ってからにしましょう。小中学生の登下校の姿は目立つので、特に中学生が家に帰らず集まって話をしているような姿は、心配されます。本人たちは、悪いことをしているつもりがなくても、「いいのだろうか?」と思われることもあります。子どもたちが事件や事故に巻き込まれないように、安全に過ごしてほしいという願いは、みんなが持っているので、安全に速やかに下校しましょう。

☆☆夏の全国交通安全運動に向けて☆☆

「交差点 命のきけんが かくれんぼ」今年のスローガンです。7月10日から19日が運動期間です。左右の安全確認のため、「止まる、見る、待つ」をいつもより意識しましょう。「ヒヤリ」とした経験は、時間とともに薄れます。夏休み前に意識して、夏休みも安全で過ごしましょう。特に自転車では、歩行者優先、歩道は降りて、そして横断歩道を歩いて渡ることが望ましいです。この期間には、何か自分の取り組みを考えてみましょう。そして、期間中は必ず守るように心がけて実行してみると、今まで感じなかった発見があるはずです。

公津の杜中の活動目標 ③「返事」

挨拶や返事は家で、家族であたりまえにしていますか?毎朝あいさつして気持ちよく迎える。呼びかけられたら、話しかけられたら返事をする。このあたりまえのことがコミュニケーションの始まりです。挨拶や返事の習慣が身につけていなくて、「大人になってからコミュニケーションが大切だからあたりまえにしましょう」と言われても、簡単にできるようにはなりません。返事は特に大切で、うなずくだけでは伝わらないことは多いです、返事があるだけで伝わったと安心できます。

「ハイと云う素直な心」「すみませんと云う反省の心」「わたしがしますと云う奉仕の心」「おかげさまでと云う謙虚な心」「ありがとうと云う感謝の心」。返事で心が伝わります。

〇〇さんがほめてたよ

このひとことで、〇〇さんに好感を持ちます。そして、伝えてくれた人のことも。家族でも耳にした良いことを伝えると、あなたの好感度はアップします。その逆はうまくいきません。「□△さんがあなたのよくないことを言ってたよ。」と言われると、□△さんのことを好きになれないだけでなく、その人のことを思って忠告してくれたとしても、伝えてくれた人に対していい思いはしないものです。

夏の楽しみは・・・

その一つにお祭りがあります。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で、祇園祭、御待夜祭、ふるさと祭り、各町内の祭りは中止になりました。とても残念です。いつもと違う夏をどうすごすか、知恵と工夫のしどころかもしれません。人は楽しみを創る力を持っています。